

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	首都圏 - 1	(2)記載者氏名:	植木 信久	会員番号:	12894	事務局整理記入欄	山遊会 - 02
分水嶺区分	E338山王峠 ~ E3365釜沢 ~ 880m地点			(3)山行日:	2006年	4月 7~9日	(4)天候 雪

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

永田弘太郎	12319						
柴山 武	12097						
植木信久	12894						
計				3名			
計				名			

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイント)

コース概略:	山王峠旧道入口P ~ 山王峠 ~ 大倉山 ~ 1361m峰 ~ 男鹿岳直下 ~ オガクラ林道 ~ 横川放牧場												
アプローチ:													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	山王峠旧道入口	日留賀岳								7:00			
分水嶺到達点E338	山王峠	日留賀岳	139	44	32	37	4	24	910	7:20	B-2		
E337	大倉山	栗生沢	139	46	26	37	5	24	1,188	10:35	10:40	B-2	
E3365	釜沢 1361.7m	栗生沢	139	47	44	37	5	18	1,361	14:30	14:40	B-2	
分水嶺離別点	男鹿岳直下	日留賀岳	139	48	27	37	5	7	880	16:20	7:40	B-3	
歩行終了点	山王峠旧道入口	日留賀岳								13:20			
総歩行時間(休憩時間を除く):												13時間00分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E337	大倉山				雪に埋まって三角点見当たらず
E3365	釜沢				雪に埋まって三角点見当たらず

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

大倉山(1188.1m)に次の山標識プレートあり。「1188.1m NO.10 下館岳友会創立25周年記念縦走」

(9)水および植生に関連した特記事項

県境尾根の北面には水無川、南面には4つの沢(白滝、オガクラ、クドウ、ウドカ沢)が男鹿川に注いでいる。 標高935mから965mにかけて赤松の群生地が5ヶ所あり。 標高1000mあたりに栗の木、ブナ、ミズナラの大木あり。

(10)その他の特記事項

山王峠 ~ 男鹿岳は6回目の踏査で、徐々に目標距離を伸ばしてきた。尾根が複雑にいり込み、ピークの高度差がないため、非常に迷いやすい。また、夏は猛やぶに悩まされた。この山域は残雪期でないとなし。UP, DOWNの連続でかなり厳しい尾根道。 今回は男鹿岳頂上直下1.2kmで昨夜来の大雪のため断念、南面のオガクラ林道經由横川放牧場を下りる。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 大倉山山頂にて

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



大倉山山頂にて